

令和4年度まちづくり提案制度 松山市民活動推進補助金（次世代育成支援事業）採択団体

松山市では、市民が自主的、自発的に市民活動に参加できる環境づくりに取り組んでいます。
令和4年度は、以下の7団体が採択されました。

◆令和4年度採択団体

団体名	補助事業の内容等	区分
松山学院高等学校生徒会	<p>～もしものときに備えよう！～ 防災意識向上を目指して 近い将来、発生することが予想される南海トラフ大地震などの大災害の備えの一つとして、非常食の確保が大切だと考えます。ただ、非常食も賞味期限が長いとは言え、一定時期に買い替える必要があり、なかなか各家庭で準備ができていないように思います。 そこで、非常食を使って作る美味しい料理のレシピを考案し、試作品を地域の方々のご意見を参考に改良を加え、よりよい料理を作り上げたいと考えています。そして完成品のレシピ集を作成し、それを地域の方や全校生徒に配布し、非常食を身近に置いておく習慣を身に付けていただこうと考えています。</p>	高校生
まごころいっぱい、はとのすキッズ	<p>～集まれ 味生っ子・味生Ⅱっ子～ はとのすキッズのイベントで友だちづくり コロナ禍で夏祭りやちょうちん行列などの地域のイベントがないので、自分たちでやってみようと思いました。味生小・味生第二小の子どもたちが一緒に遊び、「まごころ」でつながれるようにしたいです。また、世代をこえて、たくさんの大人・子どもとつながり、ほくたち・わたしたち子どもが直接まちづくりに参加できるようになると思います。</p>	小学生
小野中学校生徒会 2022	<p>「拝啓松山」 ～松山の中学生の思いを標語に～ 新型コロナウイルス対応関係を中心に、様々な困難なことに向き合いながら生活している松山市の中学生が、今どんな思いをもっているのか、未来の松山はどんな「まち」になってほしいかなどの標語を募集し、優れた作品をポスターカレンダーにして配布したいです。その結果、これからの松山を作る中学生の思いをみんなで知ることになり、松山市内の中学校から、松山をよりよくするまちづくりにつながると考えました。</p>	中学生

団体名	補助事業の内容等	区分
Bridge of friendship	<p>つなごう！友情の架け橋！ 私たちの目標は、『モザンビークを豊かにすること』です。 そのためにも、まずは日本の皆さんに少しでもモザンビークの現状を知っていただくことをメインに、ポスターやモザンビークノートを作成し、市内の小学校との連携などを通して、皆さんにモザンビークのことを伝えていくところから始めます。 次に、募金、寄付金活動を行います。色々な機関、施設に募金箱設置のお願いや募金協力をお願いをしに行こうと思っています。こちらでもポスターや SNS で募金協力の呼びかけを行う予定です。</p>	中学生
まるっとさんかく	<p>まるっとさんかくプロジェクト 私たちの活動の目標は、シティズンシップ教育・主権者教育がいつでも・どこでも・誰でも「当たり前」のように行われる環境を作ることと、子どもの権利についてもっと理解を深めてもらうことです。そこで、私たちは自分たちが関心のある「主権者教育×校則・ルールメイキング」「主権者教育×食品ロス」「主権者教育×特別支援」について、みんなで一緒に考え判断し、自分事にしていく場を作りたいと思います。また、この活動を通して、主権者教育の役割や子どもの権利について広く周知をし、みんなでよりよいまちづくりを行うために大切な力を育みたいと考えています。</p>	大学生
たけ プロジェクト	<p>たけ アクション プロジェクト 私たちは、丹原地方の地域課題である放置竹林と松山市で行っている居場所づくり事業を掛け合わせて、子どもたちのサードプレイスとしての居場所づくりを行います。また、竹を有効活用し、竹をテーマにした様々な教材やプログラムを子どもに提供することで、放置竹林について一緒に考えていく機会を作りたいと考えています。</p>	大学生
ポテッタ	<p>野菜作りを通してサステナブルな社会を考えよう！ サステナブルな社会の構築に向けて、様々な取り組みが行われています。私たちは、地域の方々と一緒に、野菜を作る事を通して、食に関する問題を考えます。また、子どもたちや地域の方々に、この取り組みを伝える活動を行うことにより、SDGsの「12 つくる責任つかう責任」に貢献したいと考えています。</p>	大学生